#### 参考資料

<調査票等一式>

#### 調査票等目次

| 1. | 調査依頼状(全業種共通)  | 117 |
|----|---|-----|
| 2. | 産業廃棄物等に関する調査票   |     |
|    | ・形式 1 (製造業、電気・水道業)                                    | 118 |
|    | ・形式2 (建設業)  | 120 |
|    |   |     |
| 3. | 調査票の記入要領・記入例、産業廃棄物分類表                                 |     |
|    | ・形式1-1 (製造業等)   | 122 |
|    | • 形式 1 · 2 (水道業) ···································· | 124 |
|    | ・形式2 (建設業)  | 126 |
|    |   |     |
| 4. | 産業廃棄物等の処理等に関する意識調査票(全業種共通)                            | 128 |

環備 - 541 令和5年9月8日

調査対象事業者 様

秋田県生活環境部長 (公 印 省 略)

令和5年度秋田県産業廃棄物実熊調査フォローアップ等調査へのご協力について(お願い)

産業廃棄物行政の推進については、日頃から格別のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、県では第4次秋田県循環型社会形成推進基本計画を策定し、その達成状況等を把握するため、産業廃棄物の発生及び処理の状況等に係る調査を毎年度実施しています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本年度の調査について、下記によりご協力頂けますようお願い申し上げます。 (ご回答いただいた情報は統計的に処理され、事業者名等が公表されることはありません)

なお、調査票の発送・回収、集計・解析等の<u>調査実施を一般財団法人日本環境衛生センターに</u> **委託**していますので、お問い合わせ及びご提出は、同センターへ直接お願いします。

#### 1 提出物

産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)【その1】【その2】【その3】 (ご記入にあたっては、同封の記入要領をご参考にしてください)

※調査票等は、以下のホームページからダウンロードすることができます。

https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx

- 3 提出方法(電子メールなど、電子データでの提出にご協力ください)
  - ①郵送の場合

同封の返信用封筒にて、以下の宛先までご返送ください。

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 11-15

一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課

#### ②電子メールの場合

以下のメールアドレスへご送信ください。

hik-r@jesc.or.jp

【お問い合わせ先:調査業務受託者】

一般財団法人日本環境衛生センター 循環社会推進課

電話:044-287-3280

【調查主体:調查業務委託者】

秋田県生活環境部環境整備課(廃棄物対策チーム)

電話:018-860-1624

## 産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)[その1]

調査票番号

形式 秋田県

調査票に記入して下さい 右記の<記入注意事項>をご確認の上、

#### 事業所の形態に対する番号に○を付けて下さい。 (主要製品又は商品) 工場・作業所・鉱業所 開発研究 事務所 その他( 事業所の形態 事業内容 - 0 ω 4 令和4年4月1日~令和5年3月31日までの1年間の額を記入して下さい。 製造品出荷額等(製造業のみ記入) 万円/年 千百十 千百十 億億億億万万万万万 部課、氏名) 記入者 電話番号 Ш 貴事業所の令和5年3月31日現在 の従業者数 (パート等の臨時職員及 び役員等を含む) を記入して下さ Щ 枡 従業者数 かれ 代表者(事業 所長)氏名 名 扣 記入年月日 监 在 無業

事業所の概要

に返送下みい。 令和4年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたか。該当する番号にOを付けて下さい。 ※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。 上記の「事業所の概要」を記入し、 発生しなかった。 Ķ ď 発生した。 Ķ

令和4年度に貴事業所から発生した産業廃棄物等は令和3年度と比較して、どの様に変化しましたか。該当する番号にOを付けて下さい。 廃棄物等の量的変化

2. やや増加した。 5. 大きく減少した。 大きく増加した。
 やや減少した。

3. 変化していない。 6. その他・不明。

上記で1又は5と回答された方は、その理由をご記入下さい

貴事業所から発生した産業廃棄物等を事業所内で焼却していますか。該当する番号にOをつけて下さい。

を事業所内で脱水していますか。該当する番号に〇をつけて下さい。 0. 焼却していない 2. 焼却している(熱利用している) (汚泥) 1. 焼却している(熱利用していない) 貴事業所から発生した産業廃棄物等 処理施設の状況

0. 照米していない 1. 脱水している 裏面の調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

### く記入注意事項>

1. 全般的事項

〇本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象と なります

○本調査の対象期間は令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)です

○本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所 以外に貴社の本社、工場等があってもそれは調査の対象となりません。

○調査票(その2)に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について、記入して下さい。

○産業廃棄物等が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票(その1)の「事業所の概要」欄をご回答の上、 いやとという

https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx ○調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。

2. 調査票 (その1)

べく

〇従業者数は令和5年3月31日現在としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の従業者数を 記入して下さい。 ○製造品出荷額等とは、「製造品出荷額」、「加工賃収入額」、「修理料収入額」、「製造工程から出たくす及び廃物」の出荷額と「その他の収入額」の合計で、消費税等の内国消費税を含んだ額です。ただし、調査票が送付された事業所の形態が本社事務のみ、事務所、営業所、配送センター及び販売所等であって、実際に製造、加工及び修理等を行っていない場合は、本社事務のみ、事務所、営業所、配送センター及び販売所等であって、実際に製造、加工及び修理等を行っていない場合は、 「O (ゼロ) 」を記入して下さい。

〇製造品出荷額等は、令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。

調査票 (その2・裏面)

ന്

〇自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引き渡しているものも対象となります。

飲料の铅缶・铅びん・ペットボトル、 園丼など) 〇一般廃棄物は記入不要です(例:使用済みのOA用紙、新聞紙、

〇別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい、

〇同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違う場合は、行を分けて記入して下さい

〇発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい

電子データ(回答調査票)の返送先

〇電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスで提出することができます。

E-mail: hik-r@jesc.or.jp

裏面へ

●別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。 ●自社で発生した副産物(産業廃棄物、有償・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい 業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績) その2] 世

⑥の「処理・処分の方法」で Nr.v2.wr.xr.Ref.Xに計間⑩で「1」と 回答された場合、下橋の「資源化用 途コード表」から該当する番号を記 入して下さい。 10~93に該当するものがない場合、 ①の枠中に具体的な用途を直接記 入して下さい。 プラスチック原材料 再生タイヤ コークス炉化学原料 再生油・再生溶剤 セメント原材料 ガラス原材料 一面心脈小面 中和劉 98: 子の他-①資源化の用途 自社・委託での資源化 ①資源化用途 42:問料・堆肥 43:土壌改良村 50:土木・建設資材 51:再生木材・合板 60:パルブ・統原材料 鉄鋼原料 非鉄金属等原材料 ①資源化用途コード表 ⑥の「処理・処分の方法」で「い」と回答された場合(中間処理を委託)は、委託先で中間処理された必容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。 委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その記号を○で囲んで下さい。 光 資 燃料 4 .. の記録後に 1 - 2 1 . 2 1 · 2 1 · 2 1.2 1.2 1.2 1 - 2 1 · 2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 ⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法 委託中間処理 : 油化 : 粒度調整・混合 : 分別・選別 : その街 1次2次3次 9股 原理 原理 再生利用・リサイクルしている。 埋立処分している。 薬物消毒 金属(鉄)回収 非鉄金属回収 ⑨方法番号 R: 7-1/1/-7 S: 薬物消毒 T: 金属(鉄)回 鵬總 ③委託中間処理の方法 ∵ ≥ 市村町 市村町 市村 市村町 市村町 市村 申本 市村 中本 市村 市村町 市村町 ③委託中間処理方法コード表 ⑥処理・処分先又は 再生利用先の所在地 - 9 温泉 海原 超影 海岸 海原 型 型 型 型 超点 海県 超声 海市 祖皇 超型 海県 海県 A:雜粒B:號次C:米田懿瑜(D):養城乾蒙海(D):養城乾蒙海(D):養城乾蒙海(D):養成乾之離下:由水分離下:由土村名(B):银中村):田懿(B):日懿(B) 委託処理 ⑥処理・処分の方法 発生(自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄 物)した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分 方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。 **⑦処理・処分先又は再生利用先の名称** 処理・処分(⑥に該当する)等を行った先の名称を記 処理・処分(⑦に該当する)等を行った処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。 具体的に 自社処分・自社再利用、 ⑦処理・処分先又は再生利用先の名称 ⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地 <市町村・一部事務組合へ委託処理(ごみ収集を含む)> R6:市町村等が設置するリサイクル箱設に搬入した。 R1:市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。 R5:市町村等が設置する焼却場へ搬入した。 入して下さい。 の事のごだい 29:その他 <かの街> 具体的に ④自社での中間処理方法 自社で中間処理された場合は、該当する処 目立なの記号を下橋の「中間処理方法コード 表」から第んで、中間処理の過程順に記入し て下さい。 kg t kg t kg t m³ ﷺ kg t m³ ﷺ kg t m³ ‰ kg t kg t m³ ﷺ kg t 中間処理後の残さ量を記入して下さい。な お、単位は該当するものを選び、〇で囲んで 下さい。 I ⑤中間処理後量 ×1:廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。 万千百十 自社での中間処理 J1:処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した。 百 万 万 ⑤中間処理後の量 3次 S1:民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。 4)方法番号 S2:秋田県環境保全センターで直接埋立処理した。 1次2次机理机理机理机 く自己処理>V1:自社で再利用した。V2:売却できないものを自社で再利用した。W1:売却(利益があった)した。 <産業廃棄物処理業者等へ委託処理> 自社の処分場で埋立処分した。 T1:処理業者で直接海洋投入した。 kg t kg t age Kg Kg t kg t (別紙「廃棄物等分 ●行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。 6)処理・処分方法コード表 **②廃棄物の分類番号** 別紙[廃棄物等分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。 <u>გ</u> \_ნ <u>ფ</u> \_ნ <u>ಹ್</u>ಲ ೯ <u>ಹ್</u>ಲ ೯ <u>ಹ್</u>ಜ ã\_E <u>ფ</u> \_ნ 自社で保管している。 1 ③年間発生量 十 四 十 貴事業所で日常使用している名称で記入して下さい。 類表」に示した具体例を参照) 自社で発生した廃棄物等の発生量 万 +12 7 Z Q 百万 粒度調整・混合 ③年間の発生量(中間処理する前の量) ②分類番号 : 薬物消毒: 金属(鉄)回収 非鉄金属回収 分別・選別 ①事業所で発生した廃棄物の名称 7-171-1 その街 ∵ ... .. .. .. × ≻ N 4中間処理方法コード表 海世 院水 天田乾燥 油水分離 機械乾燥 具体的に 品品 田公郎路 10 1 12 13 14 行審 Ø თ ß 9 00 တ ₩₩ F2 幅 ス 龗 

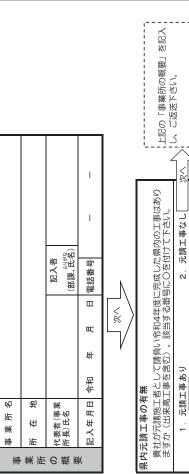
# 産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)【その1】

關查票番号

建設業 秋田県

右記のく記入注意事項>をご確認の上、調査票に記入して下さい

## く記入注意事項>



※共同企業体(JV)による工事については、分担施行方式では各 社特方分の元請工事合と発生廃棄物等を記入し、共同施行方式で は責社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物等を 一括記入して下さい。 万円/年 Я Я+ 百万 干万 丰 十瘾 いだとい 百億 干瘾 冊 黑

貴社が元請施工者として請負い令和4年度に完成した県内工事の年間元請完成工事高(出来高工事含む)を記入し

元請完成工事高(令和4年度、消費税を含む

令和4年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたが。 該当する番号にOを付けて下さい。 ※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。 **₹** 

上記の「事業所の概要」「工事実績」を記入し、ご返送下さい。 発生しなかった。 Ķ . ای 発生した。 **∠** 

裏面の調査票(その2)に貴社から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。

全般的事項

〇本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物・特別管理産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物が対象と

○本調査の対象期間は令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)です。

○調査票 (その2) には、貴社が秋田県で施工した全ての元請工事(出来高工事含む)から発生する産業廃棄が、副産物について記入して下さい。共同企業体(JV)による工事については、分担施行方式では各社持ち分の元請工事高と発生廃棄物を記入し、共同施行方式では貴社が代表会社の場合のみ、元請完成工事高と発生廃棄物を一括記入して下さい。

**J調査票の電子データは、日本環境衛生センターのホームページからダウンロードできます。** 

https://www.jesc.or.jp/work/tabid/222/Default.aspx

調査票 (その1) ď 〇元請完成工事高は、令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)としていますが、この時期での集計が難しい 場合は、なるべく近い時期の一年間の金額を記入して下さい。

調査票 (その2・裏面)

m m

〇自ら再生利用したもの、他者に売却したもの、無償で引き渡しているものも対象となります

〇一般廃棄物は記入不要です(例:使用済みのOA用紙、新聞紙、雑誌、飲料の空缶・空びん・ペットボトル、厨芥など)

〇別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、産業廃棄物等の発生及び処理状況について記入して下さい

〇同じ産業廃棄物等でも、中間処理方法や処分先が違う場合は、行を分けて記入して下さい

〇発生量には、脱水や焼却など中間処理を行う前の量を記入して下さい。

電子データ(回答調査票)の返送先

〇電子データで回答された調査票は、下記のメールアドレスで提出することができます。

E-mail: hik-r@jesc.or.jp

Н

●別紙「調査票の記入要領・記入例」「廃棄物等分類表」を参考に記入して下さい。●自社で発生した副産物(産業廃棄物、有償・無償引渡物)全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。 産業廃棄物等に関する調査票(令和4年度実績)[その2]

| <b>の資源化の用途</b><br>⑥の「処理・処分の方法」で<br>⑥の「処理・処分の方法」で<br>いい2M1X1.R81又は前階ので「1」と<br>回答された場合、下欄の「資源化用<br>高コート表」から該当する番号を記<br>入して下さい。  |          | 資源化               | 46                                    |   |                       |                   |                    |               |                            |  |   |                                       |                 |        |                   |              |                |                       |                 |          |                            | 70:ガラス原材料<br>80:プラスチック原材料<br>81:再生タイヤ<br>90:カメント画材料  |   | の R ・ 子と B B B B B B B B B B B B B B B B B B   | 98:40每一                                | 10~93に該当するものがない場合、] ①の枠中に具体的な用途を直接記 | 入してください。   |
|---|----------|-------------------|---------------------------------------|---|-----------------------|-------------------|--------------------|---------------|----------------------------|--|---|---------------------------------------|-----------------|--------|-------------------|--------------|----------------|-----------------------|-----------------|----------|----------------------------|--|---|--|--|-------------------------------------|--|
| 1   1   1   1   1   1   1   1   1   1   |          | 委託中間処理 自社・委託での資源化 | ajn I                                 | 2次 3次 の処分<br>処理 処理 方法                             | 1.2                   | 1.2               | 1.2                | 1.2           | 1.2                        | 1.2  | 1.2                                     | 1.2                                   | 1.2             | 1.2    | 1.2               | 1.2          | 1 • 2          | 1.2                   | 1 · 2           |          | (①資源化用途コード表                | # 10 : 鉄橋原料 20 : 井鉄金属等原材料 30 : 紫料 30 : shi 30 : sh | 9 4 4   |  | 0.00                                   |                                     |  |
| (3)受験作中間処理の<br>(3)の「処理・処公<br>(3)の「処理・処公<br>(3)の処理方法の番号な<br>(3)の選んで、中間処<br>(4)の要託中間処理機<br>委託先で中間処理<br>会部号を下記から選<br>(4) 再生利用・リ  | <b>7</b> |                   |                                       | 2<br>紀<br>祖<br>田<br>田                             | 中<br>中<br>本<br>本<br>本 | 幸道<br>西<br>本<br>大 | 神道<br>西<br>東本<br>大 | · 一           | <del>上</del> 通過            | 把 使 無  | · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·   | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | <del>作</del> 類編 | 1      | 書価<br>円<br>本<br>本 |              | 都道 市 町 町 村村    | 神<br>日<br>日<br>本<br>オ | 都道<br>町 府県<br>村 | <b>†</b> | 間処理方法コード表                  |  | A WE WITH THE WITH WE WITH WITH WE WI | O:3½//-h固型化<br>P:乾熱滅菌<br>O:素等  | ・ソ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |                                     |  |
| ●処理・処分の方法<br>発生(自社で中間処理とた場合は、中間処理後の係棄物)した廃棄の処理・処分方法を下欄の「処理・処分<br>方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。<br><b>⑦処理・処分(</b> (⑤に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。<br>必理・災分(⑤に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。<br>②処理・処分(⑦に該当する)等を行った先の名称を記入して下さい。   |          | 自社処分・自社再利用、委託処理   | <ul><li>⑤ の処理・処分先又は再生利用先の名称</li></ul> | 分の方法  |                       |                   |                    |               |                            |  |   |                                       |                 |        |                   |              |                |                       |                 |          |                            | -  | NO・IP型をもでは<br>  C・MASS<br>  C・MASS<br>  F・HA<br>  F・HA  | - 1  |  |                                     |  |
| ⑥自社での中間処理方法<br>目れて中間処理された場合は、該当する処<br>程力法の記号を下橋の「中間処理の通程順に記入して下さい。 ⑤中間処理の適程順に記入して下さい。 ⑥中間処理後の責<br>中間処理後の責<br>中間処理後の残さ重を記入して下さい。な<br>お、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。  |          | 自社での中間処理          | 5法番号                                  | 1次 2次 3次 百 十 百 十 百 十 一 単位処理処理処理 処理 万 万 千 百 十 一 単位 | ↑ % ¥ % ¥ % €         | Ag t              | 3                  | Kg t<br>B³ %; | Kg t<br>B <sup>3</sup> % t | 3. 66<br>4. 7. 7. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. 4. | T Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y Y | Rg t<br>Rg t                          | Kg t<br>B³ %; t | 1      | 3                 | kg t<br>B³%t | kg t<br>m³ ½ Z | Kg t<br>m³ ½ t        | kg t<br>m³ ½,   |          |                            |  |   | (本の布)   (本の布)   (本の布)   (本の布)   (本の布)   (本の布)   (本の布)   (本の中)   (本 | した。<br>E処理をした。                         |                                     | 領理立処理した。   |
| <ul><li>「アさい」、(別紙) 廃棄物等分類</li><li>「ケタの番号を記入して下さい。</li><li>3水などの中間処理をする前の量</li><li>5ものを選び、〇で囲んで下さい。</li></ul>  |          | 勿等の発生量            |                                       | 百十万千百十一 単位  | ± 55 E                | 3 % t             | 3 % t              | - Kg t        | 3 % t                      | 3 kg t   | 3 Kg t                                  | 3                                     | 3 % t           | 3 kg t | R R t             | Rg t         | kg t<br>m³ ½∠  | Rg t                  | kg t<br>m³ ½    |          | ⑥処理・処分方法コード表<br>/ 6 コ 帰期 > | 、 bl. ななよ<br>  V 1 : 自社で再利用した。<br>  V 2 : 売却できないものを自社で再利用した。<br>  W 1 : 清却(き曲があった)した。<br>  V 1 : 自社で度している。   | Q1:自社の処分場で埋立処分した。   | <産業廃棄物処理業者等へ委託処理>  |  |                                     | S2: 秋田県環境保全センターで直接埋立処理した。<br>   r 4 : 5 12 14 4 2 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 |
| <ul> <li>○事業所で発生した廃棄物の名称<br/>貴社で日常使用している名称で認入して下さい。(別紙)廃棄物等分類<br/>表」に示した具体例を参照)</li> <li>②應某物の分類書号<br/>別紙「廃棄物等分類表」をみて該当する4万夕の番号を記入して下さい。</li> <li>③年間の発生量(中間処理する前の量)</li> <li>各行ことに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量<br/>合行ことに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量<br/>で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んで下さい。</li> </ul> |          | 自社で発生した廃棄物等の発生量   | ①廃棄物の名称 ②分類番号                         |   |                       |                   |                    |               |                            |  |   |                                       |                 |        |                   |              |                |                       |                 |          | ·表                         |  | N: 集回以 M: 进行 O: 13:131 - E E E E E E E E E E E E E E E E E E  | ○:Jyy)-h固型f2 ×:PJを認知・流口<br>P:乾熱複構 Y:分別・選別<br>○・米帯 7・・V e4  | 長に、ダ                                   |                                     |  |
|   | J        |                   | <b>区分</b>                             | 52 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0          | -                     | 記 2               | m                  | 4             | ۲                          | ω  | 1.01                                    | 8                                     | o               | 0      |                   | 12           | 13             | 14                    | 15              |          | 4中間処                       | A:無担<br>B:既头<br>C:米田乾燥<br>D:機械乾燥   |   |  | ・・上間                                   | =                                   | =  |

形式1 (製造業)

具体 例 日熱電波、窓ガラス、ひん様、グラスウール、ガラス意器、光学レンズ、クリスタルガラス 理化学用ガラス器具、第品ピン

クヘギ、フンガ、かわの、陶器

1310 分類番号

1320 1340 1402 1510 1520 1530

1330

コンクリート製品くず

高炉の残み、平炉の残み、転炉の残み、電気炉の残みい、キューボラのノロ、

## 廃棄物等分類表(その1)

1. 産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を

| ※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は、本用紙右下の特別管理産業廃棄物の<br>分類表をご参照ぐださい。 | : |
|--|---|
| (>鑑  |   |

| est.    | 驟     |         | 分類番号   | 10   |
|---------|-------|---------|--|--|
| 銰       |       | 光       | 泥 0211   | 製練活気、活色汚泥、余剰汚泥)、ピルピット活泥(し原名舎ひものは除く)、栄色排水処理汚泥、クリーニング排水処理汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌結製残さ、その地形状を全する奇機性廃棄物   |
| ¥       |       | 污泥      | 0212   | 下水汚泥   |
| 型       |       | 光       | 泥 0221   | のつき方に、金属表面心理方形、研磨方形、砂利洗券方形、セメント工場排水処理方形、業業非水処理方形、水酸化アルミ方形、イオン交換船商再生廃液処理方形、金属さび粉体、廃予ョットプライト(在対象したものに同じの)、解サンドプライト(登時のプライのにの形形)、原規の上の下の形成、が原元して)。赤沢、ガラス研磨方形、金属研磨方形、透路線清汚形、洗事方形、原白土、油水分類後の汚形、発動料、その地形状を呈する無機性廃棄物  |
| 器       | 1     | 污泥      | 3 0222   | 建設高急水率汚泥、ベントナイト汚泥  |
| 长       |       | 汚 派     | 泥 0223   | 上水汚泥   |
| 談       |       | 物油      | 田 0311   | エンジンオイル、機械笛、グリス、切削油、絶縁笛、圧鷲笛、作動油、重油、原油、淵源笛、燃料   |
| 無       | 型型    | 物性油     | 脂 0312   | 像街、慶街、ヘット、ラード、天辺ら街、サラダ街、アマー街、杮街、ゴマ街、なだね街、やし街、大団街、とうも名こし街   |
| 媣       | Date: | 灰       | ıj 0320  | アルコール類、ケトン、洗浄油   |
| 沿       |       | 兴       | 四330   | アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、//<br>ステル  |
| ٢       | ۳     | 11      | 0340   | タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム  |
| 無       |       | 整       | 金 0320   | 治のしみたウエス、治療くず、傷気治及、傷シーに枯、クレオソート解治、アソダーコートがず、保護性(彼状)、イソクかず、廃ウニス   |
| 6       | 瀊     | 性廃液     | ğ 0401   | 塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、フッパカ米酸、適塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸和洗净液、エッチング麻液、染色酸吐麻液(漂白液セミ工程、染色工程)、クロメート感液、硫酸ビッチ  |
| 完       | 粣     | 廉液      | § 0402   | 写真定档廃液   |
| 6       | 緻     | 体系      |  | 「一大数、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液   |
| U F     | -     | 性廃液     | ξ 0501   | アルカリ在宗等爆獲、獲珠びん用顔アルカリ、右反痛液、糖原汁、アルカリ柱メッキ磨液、下でタイト暗痕、実由非な、(精隆工度、シルケット加工)、建成(チッノ蒸糖磨液)、貯贈所数(金属無肉油)、硫化シータ脂液、原のララント液(LC))  |
| 强       | 磢     | 廃液      | 5 0502   | 写真現像病液   |
| IL<br>K |       | \$<br>* | 0010   | (熱回製生) ボリエチレン場隔、ボリスチレン場隔、ボリプロピレン樹脂<br>(熱硬化性) フェール場間、ボリスチート、コリア樹脂、エボキツ樹脂、<br>メラニン場間、ウンタン分間。<br>(ら成繊維) オーロン編集、ボリエステル編集、アクリル編集、源紡績維、信種ローブ、<br>(その 也) ブラスギック種の、ブリスケック層線、数カンダーと、ピー・ドット<br>(下の 也) ブラスギックをの、ブリスケッツ層線、数カンダーと、ピー・ドット<br>(下の と ファイル、ファスチックタイル、たりロイド、繊維省にブラスチック |
| ス悪      | 'n    | ラスチック   | 7 0615   | 石油などの化学資源からではなく生物資源(バイオマス)から作られたプラスチック   |
| も恢      | 4     | タイヤ     | 0625   | 大型車の使用減みタイヤ<br>等活車・終白影車の存用減よる人も  |
| ~       |       | ₽<br>P  |  | プレブ・紙・統の工品製造業、印刷業、製本業、出版業等から採出される紙<ザ   |
| ~       | I     | å6      | $oldsymbol{ol}}}}}}}}}}}}}}}}}}$ | 3がくず、かんなくず、バーク類、竹、ベニヤ  |
|         | ~     | l la    | 0000 <del>4</del> 0000   | 「ハレット、ハレット、Vの買売の報告の記録して設定し、日本の「大のです。   |
| 垂       | 整     | 性残      | 1001   | 像・製の像、像・製の皮・内臓などあら、皮革くず、ボイルがず、缶詰め・瓶詰め不良品、乳製品精製残え、卵から、貝殻、羽毛   |
| 担       | 整     | 性残      | 호<br>1002  | ソースかず、陽治かず、こうじかず、治かず、ピールがす等の発酵・醸造かず、あめかず、<br>粉かず、でんらんかず、豆腐かず、あんがず、茶かず、米、麦粉、大豆かず、不良豆、果物<br>の皮、種子、野菜くず、薬草がず、油かず、パンくず、原料くす  |
| 半       | ~     | 不要物     | 4000   | と番場から生する計割に係る固形状の不要物、食鳥処理場から生する食鳥に係る固形状の不要物<br>要物  |
|         | ~     | Jo      | 1100   | ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板くず   |
| 緓       | ı l   | <<br>چ  | 1210   | 鉄くず、スクラップ(主体が鉄製の場合)、ブリキくず、トタンくず、空き缶(鉄製のもの)   |
| #       |       | 鉄くず     | 1220   | 御線、銅くず、アルミ<す、アルミ缶  |
| 煕       | √□    | 混合金属くず  | 1230   | 自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの   |

| 有 | よいいん | <u>ت</u> | ~ | 排 | 2600 | 水銀を1kgにつき15mgを超えて含有するもの(ばいしん、燃え粉、汚泥、鉱さい)<br>水銀を1Lにつき15mgを超えて含有するもの(麻敷、像アルカリ) |
|---|------|----------|---|---|------|--|
|   |      |          |   |   |      |  |
|   |      |          |   |   |      |  |

水飯亀池、空気亜鉛亀池、銀田横器(蛍光ランブ、HIDランブ、収亀ランブ)、医薬品、水部を漏料、水銀m圧計など、水銀等の中田に関する表示がある製品

2500

-作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業病棄物であって、石綿をその重量のO1%。 3式て含有するもの。ビニール板タイル(廃プラスチック類)、スレート板、サイディング

2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物 鉛蓄電池 (パッテリー)、乾電池 (水銀を含むものを除く)

廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物

2300

2400

3600

希ブラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、が nき類以外の廃棄物を含む混合物で分別ができない廃棄物 プリントED線液、アレバ、エアコン、治核庫、洗濯機、亀子レンジ、/ペノコン、鵯筋機、自動 影影器など

廃自動車、廃二輪車

プラスチック類、ゴムくず、金属くす、ガラスくず・コンクリート<す及び陶磁器くす、がき整のみを含む混合物で分割ができない係業物

《沿橋二》四銭汀がなどか自己の登辺宮銀し行編也、「義礼録」ではなく、歓迎する旨の「歳へず」、「木くず」等を発生等の鑑賞してに入してください。

廃活性炭、廃カーボン

0101 0102 2100 2200 3000 3100 3500

1800

燃料などの焼却灰(石炭榖、コークス灰、重油灰、木灰、炉掃出物、クリンカなど)

鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイル、断熱材

1600

コンクリート設元、コングリートプロック設元 不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石<す

1403

アスファルトコンクリートの設片

| ※攝発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業<br>廃棄物として分類されます。 | 揮発油類(燃えやすい傳油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテ<br>ルなど) | 水素イオン濃度指数 (p H) 2.0以下の廃液 | 水素イオン濃度指数〔p H〕12.5以上の廃アルカリ | 血液、血清、血漿、体液 (精液を含む)、血液製剤、血液等が付着した約利なもの(注射計<br>メス、試験管、シャーし、ガラスくで等)、血液等が付着した実験・手術用手段等、病原院性<br>物に関連した試験・検査等に用いられたもの(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した原う<br>ラスチック頻等 | 特定有害物質を含む焼却灰 | 特定有害物質を含む汚泥 | 特定有害物質を含む汚泥 | 特定有害物質を含む廃油、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む廃油等 | 特定有害物質を含む酸性廃液 | 特定有害物質を含むアルカリ性廃液 | 吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など | 特定有害物質を含む鉱さい   | 特定有害物質を含むばいじん     | 解PCB等、PCB污染物、PCB処理物 | 特定の施設において生した彫み版又は廃水銀化合物(水板使用製品が産業廃棄物となったもの<br>に封入された原状病等を除る。、水銀岩とはそかに合物が含まれている産業廃棄物、又は水<br>験使用部の産業廃棄物となったものから回収した原水根 |
|--|--|--------------------------|----------------------------|---|--------------|-------------|-------------|--|---------------|------------------|--|----------------|-------------------|---------------------|--|
|  | 0318   | 0408                     | 0508                       | 2018  | 0109         | 0219        | 0229        | 0319                                   | 0409          | 0200             | 1538   | 1409           | 1809              | 7419                | 7440   |
|  | 無  | 緻                        | Ŀ                          | 黎   | 骏            | 兴           | 汚泥          | 無                                      | 緻             | カリ               | 排  | ے              | ~                 | ш                   | 排  |
| 業  |  |                          | Ł                          | ₩   | ıΚ           | 性汚          | 性汚          | 樫                                      | 樫             | ルカ               | 綿  | <del>1</del> 0 | いじ                |                     |  |
| 概  | 墨  | 邂                        | ٦,                         |   | 凝            | 獭           | 櫢           | 刪                                      | 刪             | 廃ア               | 廃石   | 串談             | l<br>L            | O                   | 会  |
| 州  | 世  | 世                        | ₹ F                        | 鑑   | 有害           | 害有          | 串           | 年                                      | 年             | 删                | <del>M</del> a   | 有              | <del>[  </del>  0 | Д                   | ¥  |
| 刪  |  |                          | 性廃                         | 캗   | 完            | 一           | 定有          | 州                                      | 州             | 定有               | 定有   | 出              | 定有                | _                   | Κ.   |
| 影響   | ×  | 食                        | 食性                         | 张   | 华            | 特定          | 特定          | 华                                      | 华             | 特克               | 特別   | 李              | 特月                | 樫                   | 樫  |
| 2. 特別管理産業廃棄物   | 3  | 陞                        | 爾河                         | 脸   |              |             | 华           | 定.                                     | 有宝            | 田世               | 業廃   | 業物             |                   |                     |  |
| Ø  |  |                          | _                          |   | 华            | 記           | 口田          | 世業                                     | ₭僟            | 楽                | \$   |                |                   |                     |  |
|  |  |                          |                            |   |              |             |             |  |               |                  |  |                |                   |                     |  |

## 記入例> 調査票の記入要領

●この調査**の対象期間は、会和4年度(会和4年4月1日~会和5年3月31日)の1年間**です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分の状況を 質問①~①までの流れに従って記入して下せい

●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入し

て下さい。

●記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。

記入について

形式1 (水道業)

●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

●この調査では、**調査票が送付された事業所ので発生した態葉物だけ**が記入の対象となります。 ●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に**「廃棄物等分類表」を掲げてありますので参考にして下さい。** 

## 「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答え下さい。 ●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、

○**自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。

「②分類番号」 - 1/2 MR-2017 であるロンドルーンでであっている。 | 木人学、様人学、稀入サンマサウギウ佐加レでいる場合の「②年間発生量」は、焼却町の量です。 従って「①麻薬物の名称」、 | 燃やす前の名称とその分類番号となります。 なお、焼却後の尿の量が「⑤中間処理後量」となります。

脱水間の ○**自社で説水・乾燥**している場合の発生した商業物とは**説水前・乾燥前のもの**です。(能入例A・B・D・Eを参考にして下さい) 汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、 重量を形握していない場合は、下記の式より計算して下さい。

**〈丼〉:**(脱水前の汚泥発生量)=(睨水後の汚泥量)imes(100%-睨水後の含水率%)+(100%-睨水前の含水率%)

ガラス原材料 プラスチック原材料 再生タイヤ セメント原材数 再生笛・再生浴剤 中和剤

(セメント原材料)

JYJZZOHJ>}N

(市町村・一部事務組合へ委託処理> (ごみ収集を含む) 31:市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。 R1:市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。 R5:市町村等が設置する焼却燃へ搬入した。 R6:市町村等の設置するけがのが膨大した。

<その街> Z9:その街

S1:処理業者の処分場で直接埋立処理した。 S2:似田県環境保全センターで直接埋立処理した。 T1:処理業者で直接海洋投入した。

パルブ・紙原材料

再生木材・合板

- N \( \alpha \) 4 4 4 \( \alpha \) \( \alph

処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託 ×1:廃品回収(資源)業者、あるいは納入業者、関連企業等で

< 産業廃棄物処理業者等へ委託処理〉

: 肥料・堆肥 : 土壌改良材 : 土木・建設資材

: 鉄鋼原料 : 非鉄金属等原材料

引委託中間処理方法コード表

無力 肥水 天田乾燥 機械乾燥

自社で再利用した。 売却できないものを自社で再利用した。 売却(利益があった)した。

tό

⑥処理・処分方法コード表

| V 1 : 自社で再利用した。 | V 2 : 新加できないものを自社で再利用 | W 1 : 新加 (利益があった)した。 | W 1 : 計却 (利益があった)した。 | Z 1 : 自社で保管している。 | Q 1 : 自社の処分場で埋立処分した。

## 調査票(その2)の記入例

太子の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして調査票(その2)を記入して下さい。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0(ゼロ)」 を記入し、単位はkgに○を付けて下さい。 該当する単位に、必ず〇を つけて下さい。 本紙の裏面の「廃棄物等分 類表」を参照して下さい。 ①資源化用途

の記念を  $(1)^2$ 

1次 2次 3次 処理 処理 処理 9万法番号

B処理・処分先又は 事生利用先の所在地

の処理・処分先又ば 再生利用先の名称等

1 再生利用・リサイクルしている2 埋立処分している

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない。場合は、委託先へ確認して記入して下むい。また、不定期の回収業も等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下され。

⑩処理後の処分方法

8

 $\oplus$ 

大 節

フェーロ×セメソト額

30

5

Ē

福島県

0 1 個の×廃業 S / 銀00

数田(市

1.2

8

<u>1</u>

7

男應冊

フ / O×セメソト額

百社

O

1.2

1.2 1.2 1.2

 $^{\#}$ 

数田

0 5 1293 
 十万千百十一
 833 3 7 4 百万 1次2次3次 9次 9班 94班 94班 40万法番号 9 В C ρ B 単位 9 0 2818 + 5 5 7 1 1 1 10210 6 7 2 1 3年間発生 0 / 1 8 G 百万 0 2 2 3 223 0212 0 3 1 2分類番号 0 2 1 0 馬等物の名称 5-4上水污泥 + 下水汚泥 6-上水污泥 記 2 下水汚泥 思趣, 行審 ω 区分 щQ 記入例: E 記入例:D 記入例: B 記入例:

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

## ※上水汚泥は、脱水・乾燥施設に投入した濃縮汚泥量を発生量として記入して下さい。 ・上水汚泥が年間2,818t発生した。 記入例:D

自社の施設で天日乾燥を行い、処理後の 量が1,293tであった。

自社の施設で脱水を行い、処理後の 量が405tであった。

・上水汚泥が年間3,181t発生した。

記入例:E

・処理後の汚泥は自社の処分場で埋立処分した。

・自社の施設で脱水→機械乾燥を行い、処理 後の量が374tであった。 ・下水汚泥が年間6,721t発生した。 自社の施設で脱水を行い、脱水後の量が ・下水汚泥が年間10,210t発生した。 833 tであった。

※下水汚泥は、汚泥濃縮設備の濃縮汚泥量を発生量として記入して下さい。

記入例:B

記入例:A

・処理後の汚泥は、秋田市にある㈱〇〇の埋 立地で埋立処分した。

・委託先では、油水分離後に燃料として再利用している。

・処理後の汚泥は男鹿市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

・処理後の汚泥は大館市のセメント工場でセメント原料としてリサイクルした。

これは福島県の街〇×産業に処理を委託

廃油が100kg発生した。

記入例:C

## 廃棄物等分類表(その1)

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を除く)

0212

띘

沢

长

0211

띘

斨

世

邀

0221

띘

汽

世

继

汚泥(泥状のもの)

0222

띘

宍

誸

0311 0312 0320 0330

無

松

動植物性油脂

般廃

| 繁飾汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、 プブピット汚泥(し尿を急むものは除へ)、染色  | が ラ ス く ず 1310 日熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、<br>理化学用ガラス器具、薬品ピン   | クリスタルガラス、                     |
|--|--|-------------------------------|
| を主とする場合)、イースト菌培養残さ   | ● 段 路 く ず 1320 セラミックくず、し、  |                               |
| 光자 건물 또 이 면접 보면볶~勿   | ンパートくり 及 石 青 ボ ー ド 1330 石帯ボードくず び陶磁器ぐず 石 青 ボ ー ド 1330 石帯ボードくず  |                               |
| 下水汚泥   | コンクリート製品 〈ず 1340 コンクリート製品 〈ず   |                               |
| かしま活形。全国専商的理活形、研磨活形、砂型洗浄活形、セメント工権は水の理光形、線  | 廃 砂   1401   鋳物砂、サンドブラスト廃砂   |                               |
| リンボス・加雪な対しができ、おおりがようがあった。 イン・ 一番がらかがいた。<br>大心里で活っ、大蛇イフル・ディング検査部目上廃床の埋ち流、か画みび粉体、<br>・トンゴント(女7数)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 第 さ い か さ い 1402 高や水さい、高やの残さ、平炉の残さ、転がの残さ、電気炉の残さい、キ ロス、カラミ  | ューボラのノロ、ド                     |
| フェッ・ファイ・くのひゅうりつのらうなので、 第9ア・ファイ・スキャッドののこうであり、 記録石にし、 帯流・ グリス単郷形院、 街鷹田廳形院、 道路豊瀬形院、 発車形院、 廃   | 鉱 さ い 類 1403 不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石くず   |                               |
| 日土、汨水分羅後の汚泥、廃顔料、その也泥状を呈する無機性廃棄物  | - が A. st - 類 コンクリート片  1510  コンクリート破片、コンクリートプロック破片   |                               |
| 建設高急水率汚泥、ベントナイト汚泥  | 作物の新<br>義又は除去  |                               |
| 上水污泥   | (#うもの] レンガ破片など 1530 鉄道用線路の砂利、骨材、石材、レンガ、スレート、タイル、断熱材  |                               |
| エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油、潤滑   | 動物のふんにおとりのふん原、馬のふん原、牛のふん原、豚のふん原、にわとりのふん原、馬のふん原   |                               |
| 出、熱料   | 動物の死人 (これ) (1700 ) 家畜の死体、牛の死体、豚の死体、にわとりの死体、馬の死体  |                               |
| 無知、鬱油、ヘット、ラード、天ぶら油、サラダ油、アマニ油、植油、ゴマ油、体だね油、  | ば い じ A 1800 電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト、煙道・煙突に付替堆積したす   | :ज ज                          |
| 2年、インもろいつ油   | 1  | /力など)                         |
| アルコール類、ケトン、光浄苗   |  | 、焼却する前の                       |
| アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、バステル   | 廃活性炭・廃カーボン 0102 厚  |                               |
| タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム  | <ul><li>第 安定型混合廃棄 2100 属ブラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コングリートくず及び陶磁器くず、 カラスペ・コングリートくず及び陶磁器くず、 か 物 (1) 計を類のみを含む混合物で治力ができない係業物</li></ul>  | 50個磁器<す、が                     |
| 油のしみたりエス、油蒸くず、再吸油材、廃シール材、クレオソート廃油、アンダーコート  | ↑ 管理型混合廃棄 2200 廃プラスチック類、ゴムくす、金属くす、ガラスくす・コンクリ<br>物 物 物 物 カラストランター おき類以外の廃棄物を含む混合物で分別ができない廃棄物  | - トくず及び陶磁器くず、が                |
| かず、廃塗料(液状)、インクかず、廃り二ス  | 合<br>除 自 動 車 3000 廃台動車、廃二輪車  |                               |
| 植物、原物、フラ酸、クロム酸、リン酸、レッ化水素酸、適植素酸、ソルファミン酸、ケイし…響、整件は高度、ド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 所<br>・ 検験<br>・ 検験<br>・ 機械器具<br>・ 3100<br>・ 71ント配線板、テレビ、エアコン、治蔵庫、洗濯機、電子レンジ、パン<br>・ 4数<br>・ 5数<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5<br>・ 5 | コン、電話機、自動                     |
| THW (MOXEOLE *BLE)   | 1 ‡  |                               |
| 写真定档廃液   | 複 合 材 3600 2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物  |                               |
| 字酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液   | シュレッダーダスト 8300 廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物  |                               |
| 7D/カリ佐系等係深、液光がも用廃アルカリ、右D降源、 豚区叶、アルカリ性メッキ感漢<br>ドロマイト 原版、東色排状(精度工程、シルケット加)、 黒海(チップ素解解液)、 影臨<br>間源(金商表表図記載)、前化シー与原液、 麻クーラント液(LLO)     | - 工作物の新築 改扱びは放法に伴って生い店墓跡裏物であって、石崎をもの 正一ル版タイル (網フラスキック類)、スレート版 (Jがは親) など  | 石綿をその重量の0.1%を<br>レート板、サイディング、 |
| 写真現像療液   | 水 銀 使 用 製 品 産 業 廃 棄 物 2500 計、水銀血配料など、水銀等の使用に関する表示がある製品 計、水銀血圧計など、水銀等の使用に関する表示がある製品   | 放電ランプ)、水銀体温                   |
| (株の型体) ボリエチレン植物、ボリスチレソ組物、ボリプロアン対態<br>(株成が生) フェノール動物 (ペークライト)、コリア連額、エボキシ通路、<br>コンポープを表現して、パンポード)、コリア連額、エボキシ通路、                      | <ul><li>水 銀 含 有 ば い じ ん 等</li><li>2600 水原を1 kgにつき1 5mgを超えて含有するもの(ばいじん、燃え税、汚水銀を1 L につき1 5mgを超えて含有するもの(廃散、廃アルガリ)</li></ul>   | 泥、鉱さい)                        |
| メルニソ極腦、 ひつめソ極腦   |  | 1                             |

0501

熈

世

\_

R

廃アルカ:

0502

邂

磢

票

łшĶ 4

0405 0403

樫

丰

液 液 液

機性の酸性廃

0401

液

邂

世

黢

6 田

밴

쵏

灰

胦 黑 ۲ 橅

继共

無

0340

0320

排

松

ŧ

| <b>E</b> |
|----------|
| iii      |
| 聯        |
| 副        |
| 加        |
| 剛        |
| H.       |
| 뿔        |
| 监        |
| W.       |

(祭司劉柱】 ボリエチレン樹脂、ボリスチレン樹脂、ボリプロピレン樹脂 (祭禄/氏計) フェノール部間 (ペーラート)、ユリア樹脂、工术キシ樹脂、メラニン樹脂、グラニン樹脂、ウンタン樹脂 (名反藩維)、ナイニン機維、ボリエステル繊維、アクリル繊維、認防繊維、(4個ローブ、バーニン繊維、ボリエステル繊維、アクリル繊維、認防繊維、(4個ローブ、

発泡スチロール、アニールシー コイド、繊維強化プレスチック 伯段ゴムヘヴ、埴ア節

化学編雑 プラスチック製品<す、プラスチック容器、身 ト、フィルム、プラスチックタイル、セルロ (FRP)、塗料かす(国形)、接着剤がす、f

(その也)

0610

3

ΙD

Ъ

廃プラスチック類

石油などの化学資源からではなく生物資源(パイオマス)から作られたプラスチック

0615

イオマス廃プラスチック

0625 0701

4

7

₩

t

族

Щ

0626

パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷業、製本業、出版業等から排出される紙くず

木くず、おがくず、かんなくず、バーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類

0801

0802 0060

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している廃棄物は特別管理産業

| Ø           | *    | <b>针别</b> 售 | 運   | 転業  | 2. 特別管理産業廃棄物 | 極       | として分類されます。  |
|-------------|------|-------------|-----|-----|--------------|---------|---|
|             | ED.  | ¥           | 型   |     | 巡            | 知 0318  | 揮発油類(燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)  |
|             | 極    | 包           | 캗   |     | 廃            | 酸 0408  | 水素イオン濃度指数 (p H) 2.0以下の廃液  |
|             | 極    | 食           | 性廃  | 7   | ルカ           | ا) 0508 | 水素イオン濃度指数 (pH) 12.5以上の廃アルカリ   |
|             | 长    | 张           | 型   | 鑑   | 無            | 物 2018  | 血液、血溝、血漿、体液(精液を含む)、血液製剤、血液等が付着した粉利なもの(注動計、<br>スス、試験管、シャーし、ガラスくで等)、血液等が付着した実験・手術用手袋等、病原液性<br>物に関連した試験・検査等に用いられたもの(試験管、シャーレ等)、汚染物が付着した原う<br>ラスチック頻等 |
| 李           | ##=  | 棒           | 定有  | EHO | 燃え青          | 一 0109  | 特定有害物質を含む焼却灰  |
| 品 御         | - Ja | 本           | 定有害 | 有   | 機性汚          | 泥 0219  | 特定有害物質を含む汚泥   |
| □ m         |      | 华           | 定有害 | 無   | 機性汚泥         | 尼 0229  | 特定有害物質を含む汚泥   |
| 14世章        |      | 华           | 吊车  | 有害  | 樫            | 田 0319  | 特定有害物質を含む廃油、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレンを含む廃油等  |
| * 谜         |      | 李           | 定   | 有害  | 樫            | 酸 0409  | 特定有害物質を含む酸性廃液   |
| 無           |      | 梊           | 定有害 | 害廃り | 廃アルカリ        | را 0509 | 特定有害物質を含むアルカリ性廃液  |
| <i>\$</i> 2 | 業廃   | 华           | 定有  | 墨   | 石綿           | 等 1538  | 吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有す<br>る事業場の集じん装置で集められた系散性の石綿など  |
|             | 業物   | 华           | 定有  |     | は<br>い<br>に  | 1409    | 特定有害物質を含む鉱さい  |
|             |      | 特           | 定有: | 害ば  | いじん          | 1809 ک  | 特定有害物質を含むばいじん   |
|             |      | 继           | Ь   |     | -<br>0       | B 7419  | 與PCB等、PCB污染物、PCB処理物   |
|             |      | 邂           | ¥   |     | 競            | 等 7440  | 特定の施設において生した原水酸又は廃水酸化合物(水酸使用製品が産業廃棄物となったもの<br>に到入された原水販号を除く、水酸岩してはそかに合助が各まれている産業廃棄物、又は水<br>酸使用製の液業廃棄物となったものから回収した腐水酸                              |

羊毛、綿、綿、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート環が繊維(天然繊維が主体のもの) **《注意!》合政繊維は「磨プラスチック類」に分類されます。** 像・獣の骨、魚・獣の安・内臓などあら、皮革くず、ボイルかす、缶詰め・瓶詰め不良品・乳製品精製銭さ、卵から、貝殻、羽毛

ソースがす、脳油がす、こうじかす、添かず、ビールがす場の発酵・顕微がす、むめが的なり、こんがんがず、国際がす、でんかがす、茶砂が、米、蒸飲、大田がず、不良呪の様、様々な、本食が、大田ので、不良の、佐田・野菜へず、葉串がず、油かす(バンくず、原料です

1002 4000

物性残

堙 半

性残;

植物

を

瞅

К

田

米

松

1001

物性残

重

雑

自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの

銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶

1220 1230

ず非鉄くず

厩

混合金属くず

1210

鉄

## 記入例> く調査票の記入要領

調查対象期間

●この調査の**対象期間は、令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日)**です。この期間中の廃棄物等の発生と処理・処分の状況を 質問①~⑪までの流れに従って記入して下さい。

## 調査対象とする事業所と廃棄物

●この調査では、**県内で施工した元龍工事から発生した熊葉物等だけ**が記入の対象となります。 ●解薬物がどのように分類されているかを示すために、裏面に**「廃棄物等分類表」がありますので参考にして下さい。** 

●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

鉄鋼原料 非鉄金属等原材料

①資源化用途コード表

③委託中間処理方法コード表

⑥処理・処分方法コード表

4中間処理方法コード表

再生木材・合板 パルプ・縦原材料 ガラス原材料 ゴース原材料

(の) (病)な(セメント原材料) (1、堆)((発酵)

×1: 原品回収(資源)業者、あるいは約入業者、関連企業等で再生処理をした。 〈産業廃棄物処理業者等へ委託処理〉U1:処理業者に中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託

(セメント原材料) 化(発酵)

V1:自社で再利用した。
 V2:指式できないもの各自社で再利用した。
 W1: 売却(利益があった) した。
 Z1:自社で保管している。
 Q1:自社の処分場で埋立処分した。

tó

〈市町村・一部事務組合へ委託処理〉(ごみ収集を含む) 31:市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。 R1:市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。 R5:市町村等が設置する焼却場へ搬入した。 R6:市町村等が設置するリナイクル施設に搬入した。

イトトクレーブ オートクレーブ 発物活曲 的属(参)回収 非鉄金属回収 講然

着機器器・流の 分別・臓別 その表

S1:民間の処理業者の処分場で直接埋立処理した。 S2:秋田県環境保全センターで直接埋立処理した。 T1:処理業者で直接海洋投入した。

- U W W 4 4 4 D D D P W W D D D D D

クス炉化学原料

**创資源化用途** 

⑨方法番号

⑤処理・処分先又は 再生利用先の所在地

2次 処理

2000年

1 再生利用・リサイクルしている 2 埋立処分している

⑩処理後の処分方法

10 30 30

部介

郡江

福島県

大腦

1 · 2 1 · 2

1 · 2

b

男鹿

数田

●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入し

●記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。

### 発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、**「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」**をお答え下さい。

## ○**自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。(記入例のを参考にして下さい)

木くす、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却町の量です。従って「④廃棄物の名称」、「②分類番号」 燃やす町の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

**)自社で脱水**している場合の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。 (記入例Eを参考にして下さい) 活泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。 なお、脱水前の

# 重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。

→ 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。 〇廃酸、廃アルカリを公共水域(河川、公共下水道等)へ放流するために中和処理した場合。 ●ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。

→ 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に(それぞれ1行ずつを)発生量とします。

### (その2)の記入例 調香票

○似畄孫子を畄子分籍した場合。

太学の部分が、記入事例箇所を示しています。記入例を参考にして調査票(その2)を記入して下さい

ない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入して下さい。 廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握してい の処理・処分先又再生利用先 の名称 ₩△△産業 ○*商店* ®x∘ ひ 1 44額 **那 ₩**000 S 1 例。 7 S M 0 万 千 百 十 -0 1 +厄 百万万 の 配 を 関 ④方法番号 1次 2次 処理 処理 B 該当する単位に、必ずOをつけて下さい。 単位 1 0 0 2 0 0 9 0 1 1 0 ③年間発生量 十万千百十. 百万 0 0 6 1 0 0 6 1 0 0 2 2 2 5 1 1 2 1 2 1 0 8 本紙の裏面の「産業廃棄物等分類 表」を参照して下さい。 コンクリートのがれき トコンクリートのがたぎ ベントナイト形能 ①廃棄物の名称 ・磨プラスチック 席プラスチック 一般筋ヘデ オヘチ **心脚** ₹8 醽 記入例: E 記入例:F 記入例: D 記入例: A 記入例:B 記入例:C

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入して下さい。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入して下さい、

#### ・工事現場から建設木くずが年間に2t車で30台分(すべて満杯)発生した。 記入例:B 工事現場から鉄筋くずが 記入例:A

ペて、秋田市の㈱△<br/>
△<br/>
は<br/>
の<br/>
が<br/>
の<br/>
の<br/>
が<br/>
の<br/>
の<br/ 相手先では、鉄鋼材料と して再生利用している。 年間9 t 発生したが、 業に売却した。

## ・工事現場からペントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。・脱水後の汚泥量は、100t(含水率70%)であった。 記入例: ・工事現場から廃プラスチッ

記入例:D

記入例:C

クが年間5m3発生した。

・工事現場から廃プラス チックが年間10 t 発

・これは、能代市にある■▼ ㈱に中間処理を委託した。 委託先では圧縮して固形

焼却した。その灰の量

・すべて自社の焼却炉で は年間で1 t程度であ

1台当たりの重量が1t程度であるため、 重量に換算すると、30tである。

これは、男鹿市にある〇〇商店に料金を 払って処理を委託した。

生した。

り、大潟町にある㈱× 〇の処分場で埋立処分

した。

相手先では、破砕チップ化し、燃料と て再生利用している。

・脱水前の量は、計量していないので正確でないが、脱水前の音は、計量していないので正確でないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると6001となる。・処理を委託し、場回回に運搬を委託し、福島県郡山市内に管理型処分地を保有する○○㈱で埋立処分した。・計算式 100 t×(100-70)÷(100-95)=600 t 燃料を製造している。

#### 記入例:F

20

 $(1)^{2}$ 

G

(H)

信托 少被 工事現場からコンクリートのがれき等が10t ダンプで12台分発生した。重量に換算すると

このうち、10 tは、㈱口口に収集・運搬を委託し、仙北市に処分場を保有する俐〇〇で埋立 120 t 程度である。 処分した。

・残りの110tは、小坂町に破砕プラントを保 有する△△㈱に中間処理を委託した。△△㈱で は破砕後、骨材として再生利用している。

=600 t

126

## 廃棄物等分類表

#### 産業廃棄物

|      | 3                | 極                                 | 極                               |                |                | 棰                               | 業廃華  | K<br>₹<br>₩ |                |  |                                   |   |   |       |   |                       |   |                                  |   |        |  |                   |                          |         |  |   |   |                       |                 |                                 |  |   |   |         |               |  |                                |  |  |
|------|------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------|----------------|---------------------------------|--|-------------|----------------|--|-----------------------------------|---|---|-------|---|-----------------------|---|----------------------------------|---|--------|--|-------------------|--------------------------|---------|--|---|---|-----------------------|-----------------|---------------------------------|--|---|---|---------|---------------|--|--------------------------------|--|--|
|      | レピット汚泥(し尿を含むものは除 | 建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥、道路側溝汚泥く建設残土は除く> | 重機等の潤滑油、エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、綿線油 | アルコール類、ケトン、洗浄油 | アスファルト、タードルッチ蓋 | タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム | 笛の滲みだウエス、油紙へず、腐吸油丸、腐ツール材、クレオソート磨油、アンダーコートかず、廃塗料(液状)、イングかず、第フニス | 廃液で酸性を呈するもの | 廃液でアルカリ性を呈するもの | <ul><li>「然回劉社」ボリエチンン極端、ボリスチフン極端、ボリブロアンン極端</li><li>「紫峰元井」フェノーラ極端(ベークルイト)、コリア極端、エボキツ極端、メルニン極端、</li></ul> | でフタン極語 サンドルニ 著名 ドゲニニ 著名 ごれ 著名 プロー | フィコン酸低、パンコスケア酸低、ブレンア酸低、<br>に砂酸低<br>と砂酸器 | 【その 性】 フラチック製品(す)、フラスチック製器、装売ダスチロール、アニールシート、フォルム、フラスチックタイル、 は一番が近にプラスチック(FRP)、機関がで「の際)、接着図がす「の院コスト等・ 猫に管 勝数かず(同僚)、接着図がす「の院コスト等・ 猫に管 |       | 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量のO.1%を超えて含有するもの。 | 建材の包装紙、建設現場から排出される紙<す | 木くず、おがくず、かんなくず、パーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類、は採木、は採材、は根材、は根材 | パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材 | 羊毛、綿、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート混紡繊維(天然繊維が主体のもの) | 天然ゴムくず | 鉄くず、スクラップ (主体が鉄製の場合)、プリキくす、トタンくす、空き缶 (鉄製のもの) | 銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶 | 自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの | (、窓ガラス、 | かわら、土管、陶管、タイル アキュニ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |   | 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量のO.1%を超え<br>  て含有するもの。 | コンクリート破片、コンクリートブロック破片 | アスファルトコンクリートの破片 | 鉄道用線路の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材 | 工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた産業廃棄物であって、石綿をその重量のO.1%を超えて含有するもの。              | 飛ブラスチック類。 コムくず、金属くず、ガラスくず・コングリートくず及び陶磁器くず、がれき類のみを含む混合物で分別ができない際業物 | 麻ブラスチック類 コムぐず 金属ペす、ガラスペチ・コングリート<br>き及び商店器ペチ、がれき類以外の商業物を含む訳合物でも知りできない係業物 |         |               | //www.c.<br> 鉛蓄電池 (パッテリー)、乾電池 (水銀を含むものを除く) | 2つ以上の異なる素材が一体的に組み合わされている製品の廃棄物 | 水銀電池、空気亜鉛電池、照铝機器(蛍光ランプ、HIDランプ、放電ランプ)など、水銀等の使用に関する表示がある製品 |  |
| 分類番号 | 0211             | 0222                              | 0311                            | 0320           | 0330           | 0340                            | 0320   | 0401        | 0501           |  | 9                                 | 0610                                    |   | 0620  | 0630  | 0701                  | 0801  | 0802                             | 0060                                      | 1100   | 1210   | 1220              | 1230                     | 1310    | 1320   | 1330                                    | 1350  | 1510                  | 1520            | 1530                            | 1540   | 2100  | 2200  | 3000    | 3100          | 3500                                       | 3600                           | 2500   |  |
| 嶥    | 有機               | 無機性汚泥                             | 最高                              | 豪              | 共              | <u>ئ</u>                        | 付 着 物 等  | 機性の酸性廃液     | ルカリ性廃          |  | 1                                 | ر بر بر کر<br>ر                         |   | サトタなが | 含有産業廃棄物 飛 散 性 )                                       | *F                    | * <del>p</del>                                    |                                  | ><br>\$                                   | (天然ゴム) | 鉄くず  | ず 非 鉄 く ず         | 混合金属くず                   | ラスく     | 関を破ります。  | が 一 十 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 石蕊伯有 莊縣 瀬 年 ) 年 張 散 年 )                                     | コンクリート片               | 類廃アスファルト        | tic レンガ破片など                     | ] 石綿含有産業廃棄物<br>( 非 飛 散 性 )   | 安定型混合廃棄物  | 管理型混合廃棄物  | 廃 自 動 車 | 轍             | 選 宗 凝                                      | ¢π                             | 製品産業廃棄物  |  |
| 課    | 汚泥               | (泥状のもの)                           | ı                               | 産              | 囮              | 無                               | 無無   | 廃酸無         | 廃アルカリ ア        |  | ŧ                                 | / Iレ L<br>底                             | スチッ   | ク使用   | 作り続き  | 紙                     | K   |                                  | 繊維  | ゴムくず   |  | 争属へ               |                          |         | Ϋ́ -   | リートくす及り函数部へが                            |   |                       | がれた。            | 「工作物の新築、<br>改築又は除去に             | 年<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・ |   | 祖,  | 包 極     | w<br>類<br>概 製 | iu ‡                                       |                                | 水銀使用   |  |

| ************************************** |    | 8  |                   | -  | je  |       | A 480   | 10 10 | #  |
|--|----|----|-------------------|----|-----|-------|---------|-------|--|
|  | ×  |    | 世                 | *  | 继   |       | 10318   |       | ★ 2 「産業治療(燃えやすい廃油、ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーデルなど)  |
| II .                                   | 餌  |    | 캗                 |    | 壓   |       | 酸 0408  |       | 水素イオン濃度指数 [pH] が2.0以下の廃液   |
| II ' '                                 | 食  | 却  | 继                 | r  | ₹   | Ł     | 1) 0508 |       | 水素イオン濃度指数〔pH〕が12.5以上の廃液  |
| II -                                   | 特定 | 一  | Ha                | 産  | 兼   | 物汚    | 泥 0229  |       | 特定有害物質を含む汚泥  |
|  | 特  | 一  | Ha                | 樫  | 業   | 物廠    | 田 0319  |       | 特定有害物質を含む廃油  |
| +                                      | 特  | 有  | <del>[  </del>  0 | 盤  | 業   | 物廃    | 酸 0409  |       | 特定有害物質を含む酸性廃液  |
| t- m                                   | 特定 | 有害 | 樫                 | 棄物 | 1廃7 | 廃アルカリ | 1) 0509 |       | 特定有害物質を含むアルカリ性廃液   |
| 有害                                     | 特定 | 有害 | 继                 | 鯸  | 物廃  | 石籍    | 歩       | 1538  | 吹き付け石綿(アスベスト)、石綿含有保温材  |
| in _                                   | 樫  |    | ۵                 |    | O   |       | B 741   | 7419  | 廃PCB等、PCB污染物、PCB処理物  |
|  | 樫  |    | ¥                 |    | 额   |       | 等 744   | 7440  | 特定の施設において生じた廃水銀又は廃水銀化合物(水銀使用製品が産業廃棄物となったものに封入さ<br>所解水銀等を得ぐ)、水銀音にしてしてその化合物が含まれている産業廃棄物、又は水銀使用製品が産業<br>できまった。もよった、日間にしている。 |

| 調 | 査 | 票 | 番 | 号 |  |
|---|---|---|---|---|--|
|   |   |   |   |   |  |

#### 産業廃棄物等に関する調査票【その3】

「産業廃棄物等に関する調査票」と同様に記入し、併せてご返送ください。 なお、「産業廃棄物等に関する調査票」の【その1】にて、「廃棄物等の発生がない」と ご回答いただいた場合は、本調査票の回答は不要です。

| 設問1 電子マニフェストの利用状況について                    |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 貴事業所では、「電子マニフェストシステム」を利用                 | 引していますか。該当する番号を1つ選び、                |
| 〇を付けてください。また、「2」を選択した場合は                 | 導入時期を、「4」を選択した場合は利用し                |
| ない理由をご回答ください。                            |                                     |
| ( ) 1. システムを利用している。                      |                                     |
| ( ) 2. システムの利用を予定、又は検討している。 <del>-</del> | → 導入予定時期:令和年頃                       |
| ()3. 補助等の支援があれば、システムを利用したい               | \` <sub>0</sub>                     |
| 一( ) 4. システムは利用しない。                      |                                     |
| ( ) 5. システムを利用するか、利用しないかは、わか             | いらない。                               |
| ( ) 6. 電子マニフェストシステムを知らない。                |                                     |
| ▶上記で「4.システムは利用しない」と回答した方に                |                                     |
| について、該当する全ての項目に○を付けてください                 | 。(複数回答可)                            |
| ( ) A. 排出量が少ない。又は取引先が少ない。                | ( )B. 取引先で導入されていない。                 |
| ( ) C. 独自システムで管理している。                    | <ul><li>( ) D. コストの問題がある。</li></ul> |
| ( ) E. システムが難しくて分からない。                   | ( ) F. 現状として問題がない。                  |
| ( ) G. その他(具体的に:                         | )                                   |

#### 設問2 自由記載(県への要望等)

産業廃棄物等の減量化・リサイクル、適正処理等を推進するにあたり、県への要望等があれば ご記入ください。

|    | こ記入ください。                                       |
|----|--|
| (例 | <ul><li>) 適正処理・リサイクルに関する研修会等を実施してほしい</li></ul> |
|    | 環境負荷の少ない製品や、リサイクル認定製品の普及等に対する支援をしてほしい 等        |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |
|    |  |

以上で、アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。